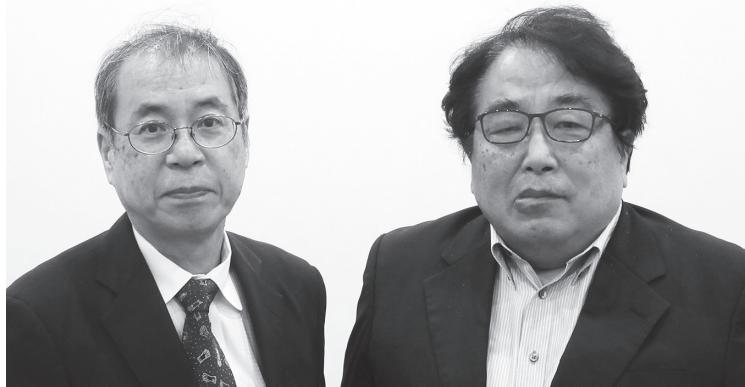


## 日本エコレザー対談⑤



左から稲次氏、水野氏

## 水野一樹氏

(株)水野鞄店 代表取締役会長  
(一社)日本鞄協会理事長

## 稲次俊敬氏

NPO法人日本皮革技術協会 副理事長

# 少子化でも、 ランドセルは高額化と需要の先取りで 市場は安定

オリンピックを節目に  
製造拠点が移動

**稲次** 今月号の座談会は(株)水野鞄店の代表取締役であり、(一社)日本鞄協会理事長の水野一樹(いちき)様をお迎えしてお話を伺つてまいります。

**水野** すが、すると社歴は百年を超えているわけですね?

**水野** 132年です。

**稲次** 大変長い社歴をお持ちです

**水野** 一説に会社の寿命は50年と

言われていますので、ながらよ  
くここまで来れたなと思います。  
でも、130年以上続いていると

ころもあるわけで、昔と同じやり  
方で経営してきた会社はどこにも  
ないんじゃないかな。時代とともに  
臨機応変に変えてきたというこ  
とですよね。

我々も昔は、かばんのほかに靴、  
革ジャンパー、ベルトも扱っていました。  
東京オリンピックの前までは、これらの荷物を貨物列車で片  
道6時間ぐらいかけて東京まで運  
んで行つたものです。そこからリ  
ヤカー付きのオートバイで納品す  
るのです。

**稲次** 製造業に舵を切られたのは  
いつごろからでしょうか?

**水野** 1970年ごろです。韓国  
がまだ製造基地という時代でし

39年ですか、確かにそれまでは  
特急ごだま号でした。

**水野** そういう時代でした。当時  
は地域ごとに代理店があつて、デ  
パートなんかへ商品を収めていま  
した。

**稲次** 当時は、水野さんは問屋さ  
んだつたのでしょうか。

**水野** そうですね。

**稲次** 新幹線ができるのは昭和  
がまだ製造基地という時代でし



現在の本社



昔の水野鞄店の看板



昔の水野鞄店の店内

**水野** 業界全体では売上げは、ほとんど落ちていません。いまは、10万円とか、それ以上の商品もあり

**稲次** おじいちゃんやおばあちゃんのお孫さんへの格好のプレゼントになっていますね。ランドセルの動きはいかがですか。

**水野** 中国とベトナムを使い分けています。ベトナムは輸送に時間が掛かります。急ぐ商品は中国ですね。しかし、中国も政府の方針でどんどん工場が郊外へ移転しています。いま取引先の工場は青島にあります。そして、ベトナムはホーチミンです。

**稲次** 御社もベトナムで製造をされていますか？

た。88年のソウルオリンピック後あたりから韓国も変化し、中国に拠点が移りました。同じく中国も北京オリンピック後には工賃が上がり、ベトナムのほうに移ってしまいました。オリンピックが一つの節目みたいになっています。

**水野** 鞄の業界では中国では合併会社を作つて、結局、工場に設備を置いたまま撤退したというケースもあつたようですが、鞄・バッグの業界はどうですか？

稲次 鞄の業界では中国では合併会社を作つて、結局、工場に設備を置いたまま撤退したというケースもあつたようですが、鞄・バッグの業界はどうですか？

**水野** ランドセル商戦は年々前倒し傾向

**稲次** かばん・バッグ市場についてお聞きしたいのですが

**水野** 口口ナの前は海外旅行も国内旅行も多かつたし、インバウンド需要もあって業界を潤しました。

**水野** かばん・バッグ市場については何と言つてもランドセルがあります。この需要はコロナ禍でもほとんど変わりません。ひと頃は年間250万人あつた出生数も、最近は少子化で100万人を切っています。

しかし、基本は国内生産であり、価格もそれ相応の価値に見合つて上がつていつているので本当に助かっています。ランドセルは日本独自の文化です。

稲次 コロナ前の2019年からいまではいかがでしたか？

が動かないものが売れません。いま、中国はパスポートを発行しない方針のために、インバウンド需要の回復は遅れるでしょうね。

稲次 コロナ前の2019年からいまではいかがでしたか？



水野氏



ランドセル



カジュアルバッグ

ますから助かっています。受注も益までには、ほぼ終わってしまいます。

**稻次** 受注生産だと数量が読みます。また、在庫などの無駄がないですね。

**水野** それが本当にありがたいのです。

以前は12月のクリスマス商戦が

ヤマで、生産の追い込みが大変でした。

いまは、4月になつたらもう来年入学用のランドセル商戦が始まり、5月の連休でうにひと山が、というようなサイクルになっています。

**稻次** 名古屋は土地柄、高いもの求められるとか。

**水野** 今はそうでもないです。しかし、「コードバン」の需要がまだ残っているのは名古屋とか言われていますね。

**稻次** ランドセルの形状も変わっています。見ていてるよつですね。

**水野** 変わっています。教科書が減つていていますから。今後は教科書が「ipad」になつていき、いずれ教科書は使わないつていう時代が来るかも知れません。

7～8年前、サンフランシスコのシリコンバレーに視察に行つた

時、訪問先の学校は教科書を一切使わず、すべて「ipad」での授業でした。驚いたことに、その学校には図書館もないのです。

また、韓国でも「ipad」での授業います。2012年に視察に行つた時、訪れた小学校は紙媒体の教科書と電子化されたものを二つに分けて、成果がどのように違うか実証実験をしていましたね。

**稻次** 韓国は、その後どうなつているのですか？

**水野** それから20年近く経つてますが、大きくなつていていません。ただ「コロナ」で学校が休みになつて、自宅で勉強するときに備えて「ipad」が一人に一台用意されていると聞きました。

**稻次** カジュアルバッグの動きはいかがですか？

**水野** もう何年も前から手提げのビジネスバッグは激減し、代わってトートバッグや通勤用リュックが当たり前になつてきました。新たに伸びているのがアウトドアですね。最近はソロキャンプも人



稻次氏

**水野**

認定を受けた企業にはど

**稻次** 革問屋さんも一部を除き、  
まだ関心が薄いようですが。

**水野** 今回の対談で、それも話題  
になると聞いていましたので、革  
問屋さんなどに尋ねてみました。  
聞くところによると、要望があつ  
ても、口戻しがまとまらないので、  
なかなか流通には乗って行かない  
という話でした。

氣で、そうしたアウトドアタイプ  
が好調です。  
ただ、一般的には、「コロナ禍で人  
の動きがまだ少ないのが響いてい  
ます。昨年10月の「GOTOトラベ  
ル」では、一時的ですがグッと需要  
が戻ってきました。来春にはまた  
計画されているようなので期待し  
ています。  
機能面でいま求められているの  
は軽さですね。

が好調です。

ただ、一般的には、「コロナ禍で人  
の動きがまだ少ないのが響いてい  
ます。昨年10月の「GOTOトラベ  
ル」では、一時的ですがグッと需要  
が戻ってきました。来春にはまた  
計画されているようなので期待し  
ています。

んなメリットがあるのですか。

**稻次** 企業を認定するのではなく  
革素材を認定するのです。

ただし、1点でも認定を取つて  
HPなどに掲載されると、この会  
社は「工」に関心が高いのだという  
信用にもなります。技術力がある  
ようだから、当たつてみようかと  
いうきっかけづくりにもなります。

ジャパンエコレザー基準認定ラベル



(ラベル表面)

日本エコレザー基準認定ラベル  
認定番号 : 09#####  
認定年月日 : 2009.10.##  
革の製造国 : 日本  
このラベルは、革の化学物質（重金属・PCP・  
ホルムアルデヒド・禁止アゾ染料など）が基準  
内であることを認定したものです。  
詳細の提示 :  
<http://www.jlia.or.jp/>  
(社)日本皮革産業連合会

(ラベル裏面)

「レザーソムリエ」は革となめし  
の基本を学ぶ講習会ですが、私ど  
もの「革と革製品の知識講習会」  
は、動物革の種類、なめし、革の主  
な特性、エキソチックレザー、商品  
のクレーム事例から見た革の特性  
について、そして、日本エコレザー  
基準認定制度の概要説明まで座  
学と実際に革を見て・触って体感  
する体験学習を通してトータルに  
学ぶことができます。  
毎年、50人ぐらいの定員で全国  
5か所くらい実施していますが、  
いつもすぐに申し込みが定員に達  
してしまいます。去年と今年はコ  
ロナ禍のため、極力定員を減らし、  
今年は10月に、川崎市と名古屋市  
でそれぞれ3日間開催しました。

**水野** 参加されるのは一般の方で  
すか、業界の方ですか。



**日本エコレザー、6つの条件**

- ①天然皮革である
- ②発がん性染料を使用していない
- ③有害化学物質の検査をしている  
(ホルムアルデヒド、重金属、PCP、禁止アゾ染料)
- ④臭気が基準値を満たしている
- ⑤適切に管理された工場で作られた革  
(排水、廃棄物が適正に管理された工場で製造)
- ⑥染色摩擦堅ろう度が基準値以上

※これまでの「日本エコレザー対談」  
[www.japan-ecoleather.jp/](http://www.japan-ecoleather.jp/)のトップページの  
《対談・座談会》の項をご覧いただけます。

### 稻次

まず、私ども日本皮革技術

協会の会員さん、それから百貨店はじめ専門店、量販店の販売員、品質管理者が結構多いですね。あとメーカー・問屋さんなど。消費生活コンサルタント、消費者などもいますよ。クラフトなど革工芸をやつてる人とかも革について学びたいと積極的に参加されています。

### 水野

勉強したい人がそんなに

るんですね。主催される日本皮革技術協会の会員つてどういう方が多いんですか。

### 稻次

私どもは皮革関係の国内

唯一の学術団体ですが、どなたでも会費さえ納めていただければ入会できます。皮革関係だと、タンナーサンやメーカーさん、問屋さんですね。ご希望の方は電話かメールで連絡いただければ対応いたします。

### 孫への贈り物も 「安全・安心」が購買動機

### 水野

日本エコレザーの基準をバ

スして、認定が取れると、このマーク(33ページ写真)が付いてくるの

ですか？

**稻次** 認定取得後、一定のルールの下にタグを付けることができま

す。  
**水野** 認定取得のための費用はもちろん掛かるのですね？

**稻次** 有害化学物質の検査費用が必要です。ただ、申請費用は不要です。なお、補助金制度もあり、「ES基準をクリアした場合には、(一社)日本皮革産業連合会(皮産連)(ひさんれん)に申請すれば分析費用の3分の2を補助してくれます。

**水野** それはありがたいですね。革製品は多色展開となります。が、色が違うと、どうなりますか？

**稻次** 化学分析は色ごとに行わなければなりません。ただ同じシリーズですと基本色の一つで認定が取れると、あとは色違いなので、分析項目がかなり減りますので、当然分析費用も半減します。

**水野** 日本エコレザーマークの付いたランドセルがおすすめです、と。

**稻次** 購買動機になりますね。そうすると、日本エコレザーマークが付いていないのはダメかという声が必ず出てくるのでしょうか？「他

も調べているということですね。

**稻次** そうです。すべてです。特定芳香族アミンを生成するアゾ染料24種類についても必ず分析し、基準に適合していることを確認していますので、必然的に不使用宣言書によりはるかに信頼性の高いものになります。

## 【会社概要】

社名:株式会社水野鞄店  
代表者:代表取締役 水野増樹  
設立:1930年(昭和5年) 1890年(明治23年)創業  
資本金:1,000万円  
事業内容:一般鞄製造卸  
本社:〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-12-28  
TEL052-251-3873  
<http://www.mizuno-bag.com/company/>  
東京支店/東京・台東区 物流センター/名古屋市港区  
ベトナム工場/ホーチミン市



の「ランドセルもおそらく大丈夫なんでしょうが、認定を受けた革で作った商品は間違いがない」と説明されればいいかと思います。

**水野** 「ランドセル工業会で普及している」。

**稻次** どんどんしてほしいですね。必要とあれば、いつでもどうでもお説明に伺いますよ。

**水野** なぜ広がらないのかな?

**稻次** 情報不足、発信不足なんでしょうね。私たちみたいな伝道師が不足していますから(笑)。

## 消費者に近い小売からの要望も増える

**水野** いま、日本エコレザーガーが一番使われる商品にはどういったものがありますか。

**稻次** 例えば、マートン(革の毛付き革)で布団(マートンシーツ)を作ってる奈良の専門メーカー、(株)マスダさんは日本エコレザーガーを前面

に出されています。40万~100万円以上する高級品のメーカーです。

このマートンシーツの特長は毛一本一本が体重を支え血行を妨げないということです。このため、寝起きの方の褥瘡予防や赤ちゃんの夜泣き防止に有効と科学的に証明されています。このマートンシーツは病気の人とか体の弱い人にとつては、寝具の安全性が非常に気がかりですが、日本エコレザーの認定取得してれば、それが安心・安全の証となるのです。

**水野** 全国で認定革を使った製品はどのように把握しているのですか?

**稻次** 実際にその革製品がどこで売られているかというのではなく、協会も皮産連も把握できていません。皮産連のホームページをご覧いただければ、製品の認定からメーカー名などが分かりますので、それを基に販売店などをお調べいただくことになると思います。

**水野** すじぐる効果があるのでしょうか。「レザーアワード」にエコレザーゲー部門を作つたらいいですね。

**稻次** 日本エコレザーガーに関心をお持ちになりましたら、いつでも声をお掛けください。

で取つているのですか?

**稻次** メーカーさんからの要請で、というケースが多いようです。最近は、消費者に近い百貨店や量販店から安全・安心な革製品はなかと診察されることも増えています。